



< 6月号 >

朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校
令和元年5月24日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1
TEL 048 (464) 7575
FAX 048 (460) 2280

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

「全力を出し切る」こと

校長 九鬼 武



5月18日(土)に行いました第47回体育大会には、朝から多数のご来賓並びに、保護者、地域の皆様にご来校いただき、誠に有難うございました。

今年は10連休もあり、練習時間も限られていましたが、体育委員は毎朝入場行進の練習をし、学年、学級での練習も全員で集中して短時間で仕上げていました。

本校の体育大会の特色となっている入場行進は、体育委員を先頭に各クラスが列を揃えながら、曲がったり、交差したりする複雑なものですが、全員の気持ちがそろい、とてもきれいな行進となり、観客席からも大きな拍手を頂きました。(入場行進の様子は、学校のHPから動画でご覧になれます。)

力強い選手宣誓。全身で力一杯歌っていた校歌。元気な掛け声の準備体操。整然とした競技での入退場。見事に決まったバトンパス。最後まで諦めず全力でゴールを駆け抜ける姿。クラス一丸となった大縄跳び。成績発表を聞き飛び上がって歓喜する姿。そして、それぞれの係の仕事を責任持って行っている姿などから、本当に一人一人が輝き、感動と笑顔あふれる体育大会になったと嬉しく思います。

開会式で私は生徒たちに、一人一人が全力を出し切るという基準でも勝負するように話しました。それぞれの競技で1位を取ること素晴らしいことですが、たとえ1位にはなれなくても全力を出し切ることが出来れば、それも素晴らしいことです。全力を出し切るというのは、言うのは簡単ですが、行うのはとても大変なことです。記録で言えば自己ベストを更新するようなものです。しかし、全力を出し切れた時に、自分の本当の力を知ることができ、自信を持ったり、次への課題が見えてきたりします。そして何よりも、終わった後の清々しさや、満足感、達成感を感じることができます。そのためには、練習の時から全力を出すことを意識する必要がありますが、このような経験を積むことで、全力を出し切ることが出来るようになり、更に大きく成長していきます。全力を出し切れたかどうかは、自分自身が一番よく分かります。

これは、体育大会だけのことではありません。勉強でも同じです。中間テストに向け全力を出し切るというのは、テストの当日だけでなく、日頃の授業態度や、家庭学習の仕方も含めて、力を出し切る必要があります。

また、全力を出し切るという経験をすることで、いじめのようなトラブルも減少すると思われれます。それは、他人と比べるのではなく、自分自身に意識を向けることで、自分のやるべき事が分かり、やり遂げた時に満足感を感じることができるからです。

では、子どもに全力を出し切る経験をさせるために、われわれ大人はどのようにすれば良いのでしょうか。本校教師は、生徒のよさを「認め、ほめる」だけでなく、「すごい! もっとできるよ。」と、更に「励まし、伸ばす」までやり切るようにしています。「認め、ほめ、励まし、伸ばす」というのは、優しさと同時に、厳しさも含まれています。

